

#ユースサポート

16,17,18... 第5号



2021年 8月31日

特定非営利活動法人

ハイティーンズ サポート ちば

発行責任者 吉永 馨

[http:// hs-chiba.net/](http://hs-chiba.net/)

校内居場所カフェ プレオープン！

7. 14(水) 千葉県立市川工業高校 りりいふカフェ



7. 20(火) 千葉県立生浜高校 ライトカフェ

2021 年 7 月 千葉県にも校内居場所カフェができました

吉永 馨 (NPO法人ハイティーンズサポートちば 理事長)

この度、市川工業高校、生浜高校の県立高校2校において、校内「居場所カフェ」をプレオープンすることができました。

カフェの開設にあたり、市川工業高校、生浜高校の校長先生はじめ職員の方々、千葉市をはじめ関係諸団体の皆様に深く感謝を申し上げます。また、企画・準備の段階から参加していただいている地域のNPOや若者支援団体の方々、学生の皆さんなど多くの方々の協力・協働の力で開設に辿り着くことができました。本当にありがとうございました。

学校でも家庭でもない“サードスペース”。だれでも気軽に立ち寄り、ホッとひと息つける場。そんな場が高校の中にあれば…。こんな願いから生み出されたのが校内「居場所カフェ」です。カフェを通じた様々ななかかわりの中から高校生の声を聞き取り、支援につなげていければと思います。

いま高校生の生活は、コロナ禍において諸々の制約（アルバイトの日数・時間数の削減、文化祭・修学旅行の中止・縮小等）がかけられています。しかし、このような時こそ、若者支援のとりくみが必要と考えます。「緊急事態宣言」を受け、校内「居場所カフェ」は一時中断とせざるをえませんが、秋季のフルオープンに向けて準備は着々と進行しています。引き続き地域の方々のご支援・ご協力を賜りながら、千葉ならではの校内居場所カフェをつくりあげていきたいと思っています。

どうかよろしくお願いいたします。

「こんな場所が欲しかった」(市工居場所カフェ オープン)

千葉県立市川工業高校定時制 長永 孝弘

1 “りりいふ” に込めた思い

去る7月14日(水)、市川工業高校の食堂において居場所カフェをプレオープンすることができました。

カフェの名称は「りりいふカフェ」になりました。店名を決めるにあたって江戸川大学の隈本ゼミ(以降「隈本ゼミ」)の皆さんがいくつかの名前を出し合い、本校定時制1年生の投票によって「りりいふ」(通称「りりカフェ」)となりました。

「りりいふ」には、野球でよく使われる「救済や解

放」という意味のほかに、「安心(感)、安堵(の気持ち)」、「(緊張・心配・苦痛などを)取り除く(和らげる)もの」という意味もあります。

店名にある想いを、私たちスタッフは生徒さん一人ひとりに届けていきたいところです。



看板も自前！ 学生さん作

2 コンセプトは「夏、涼を求めて」

今回のテーマは、季節が夏ということで、縁日をコンセプトにした涼し気な居場所カフェになりました。

演出にも力が入ります。提灯を点け、窓には簾を垂らし、風鈴が心地よい音色を醸しています。スタッフは思い思いの衣装として浴衣や甚平、法被に着替え、生徒さんを迎えます。



簾に本日のお品書き

カフェの流れは、食堂に入って縁日ゾーン、寛ぎ(くつろぎ)ゾーン、カフェゾーンに分かれています。

○縁日ゾーンでは、隈本ゼミの皆さんの企画として「魚釣り(お菓子釣り)」「輪投げ」「福笑い」というような和むための演出です。

○次の寛ぎゾーンは、H. S. ちば(NPO法人ハイティーンズサポートちば)の企画で、「七夕に願いを」がテーマ。

3 午後3時、カフェ・オープン！

準備が終わり、予定通り午後3時からカフェはオープンしましたが、今回は定時制の生徒さんを対象に企画した居場所カフェです。定時制は全校で86人、かつ午後3時の段階では仕事をしている人も多いので、客足が今一つです。午後3時をちょっと回って最初にカフェを訪れたのは定時制の1年生でした。日頃から学校に早く来る生徒さんです。

生徒さんには短冊に願い事を書いてもらいます。そこで生徒さん自身を抱えるテーマに出会えるきっかけになればと、スタッフの発案です。

また、カードゲームやボードゲームも楽しめる場になっています。

○カフェゾーンでは、地域の支援団体の「ダイバーシティ工房いちかわ」や「中核地域生活支援センターがじゅまる」の皆さんが企画した飲み物やカップ麺の提供と食材配布の場です。今回「がじゅまる」のつながりで「中核地域生活支援センターまるっと」の方にも特別にご参加いただきました。



七夕飾り 短冊に願いを込めて



それぞれ 思い思いの時間(とき)を

その後、浴衣を着た学生さんと、全日制の生徒さん

のところへカフェの勧誘にいきました。「高校生っていいな」とか「高校生に戻りたいなあ」と言っている学生さんの姿が印象的でした。



ようこそ！ りりいふカフェへ

残っていた生徒さんも、浴衣姿の学生さんの突然の来訪に戸惑いながら「行きます！」と返事をしていました。

こうして全日制の生徒さんが、興味津々と食堂にやってきました。

カフェスタッフの皆さんは、生徒さんを各ゾーンに優しく誘っていきます。ここで生徒さんは自然に馴染んでいきます。特に世代の近い学生さんと生徒さんとのやり取りは絶妙です。その様子に私は感心しておりました。



魚釣り(釣り上げたのはお菓子！)

4 アナログの素晴らしさ

縁日ゾーンでは、「魚釣りゲーム」、「輪投げ」や「福笑い」に興じ、縁日の気分を存分に味わっていた生徒さん。そこには、昨年からコロナ禍で花火大会や町内のお祭も中止となり、失った時間を健気に取り戻そうとしている微笑ましい姿がありました。



今度は輪投げに挑戦！

また、やはり昔ながらのカードゲームやボードゲームに興じる生徒さんを見ていると、古き良き時代のアナログ的なものの素晴らしさを感じました。

5 居場所カフェの第一歩

このようにりりいふカフェは盛況のうちに午後5時に終えることができました。

居場所カフェは、生徒さんにとって非日常を演出するだけの場ではなく、どんなことでも話せる安心、和みの場にしたいと思います。そのため環境づくりを含めて、まだまだ改善していかなければならないことが多々あ

カップ麺を食べながら、スタッフと楽しそうに長い間話し込んでいる生徒さんもいました。昨年から全日制でも業者による購買もなくなったために、「このような場所が欲しかった」という声を聞きました。また、食材をもらって、「是非、9月もやってください」といってカフェを後にする生徒さんもいました。幸い心配されたほどの暑さにならず、食堂の大型扇風機の稼働のみでしのぐことができました。

最終的にカフェに参加した生徒さんは、全日制17名、定時制14名の計31名でした。スタッフの皆さんが生徒さんに対応するには最適な人数だったのではないかと思います。

と思います。幸い、厳しい状況にある生徒さんを地域の生活支援に繋げることもできました。まずは江戸川大学隈本ゼミの皆さんと地域の皆さんの力を結集することで、居場所カフェの第一歩を踏み出せたことに感謝申し上げます。

主催：市川工業りりいふカフェ運営委員会

協力団体：NPO法人ハイティーンズサポートちば(HS ちば)、NPO法人ダイバーシティ工房いちかわ、いちかわ・うらやす若者サポートプロジェクト678(中核地域生活支援センターがじゅまる)

ボランティアスタッフ：江戸川大学隈本ゼミ 4名、中核地域生活支援センターがじゅまる 2名、中核地域生活支援センターまるっと、市川市生活サポートセンターそら 2名、児童家庭支援センターこうのだい、いちかわうらやす若者サポートステーション、松戸まんぷく小屋 3名、HS ちば 4名 計 18名

千葉県市川工業高校 校内居場所カフェ

りりいふ カフェ

2021年 7月14日(水)

誰でも参加OK 入場無料

場所は食堂だよ 15:00~17:00 (開場14:30)

2021版市川市景観

飲み物と軽食

ジュース コーラ
カップ麺 レトルト食品

好きなものを
好きなだけ
飲んだり食べたり
出入自由 持ち帰りもOK

縁日ゾーン (景品多数)

さかな釣り
輪投げ
福笑い
etc

りりいふって?

異議(Onetell) (敵Q) から
いっけってない(勝ってない)も
別を断ってでも(敵Q) 大満足!

地域の皆さんの協力で

福祉の充実を図っている人たちが
福祉を推進している人たちが
協力してくれました

今回、大成功なら?

9月から毎月開催になるかも
2022年度、おんけい(く)つづける
おんけい(く)つづける

主催：ハイティーンズサポートちば、NPO法人ダイバーシティ工房
中核地域生活支援センターがじゅまる

お問い合わせ
TEL 090-3525-2055 (市川)
kairod172000@yahoo.co.jp

生浜ライトカフェ プレ・オープン(7月20日) 報告

石橋 正治 (千葉県立生浜高校)

1 生浜高校に居場所カフェが必要な理由

本校に通う生徒が抱えている困難の要因を考えた時、①小中と学校に通えていないので、他者とのコミュニケーションに強い不安や恐怖を感じる ②背景に発達障害や学習障害があり、人間関係のトラブルが起きやすい ③来日して日が浅く、日本語がわからず授業についていけない ④生活困窮、虐待、ネグレクト等、家庭に深刻な問題がある等があげられます。①、②に関しては、専用の避難場所「ライトルーム」を設置、生徒は不安を感じた時心を休めに来ます。③については学校設定科目「日本語基礎」を開講、④については健康支援部という分掌を設け、包括的支援を続けています。

しかし、残念ながら現状では生徒の抱える困難を掴みきれていません。どんなに辛くても誰にも相談をせずに毎日を必死に生きる生徒、日本語がわからないのを隠してひとり苦しむ生徒、昨日から何も食べていないのに平気なふりをする生徒。16歳の彼らのプライド、「生徒と生徒」「生徒と教員」という2パターンしかない学校特有の関係性により、

2 コロナ感染対策のため今回見送る決断をしたこと

1) なんとかして TSUGAno わ子ども食堂スタッフがその場で調理したホットクを、その場で食べさせたい。食堂の厨房で調理した、熱々のホットクを、人に言えないけれど本当におなかのすいてたまらない子ども達が、スタッフから声をかけてもらいながら、友達に紛れて安心して食べる。時間をかけて議論した結果テイクアウトに決まりましたが、温かいホットクを生徒に手渡すスタッフの気持ちも、しっかりと生徒に届けられました。テイクアウトなら常温で渡すこともできたのに、あえて手間暇かけて調理して心を込めて渡してくれたスタッフのみなさんに心から敬意を表します。

2) 出来るなら、一緒に食べたり飲んだりしながら、大学生やNPOの方々とのんびり時間をかけて雑談・相談をさせて

生徒が心の奥にある本音を封印するのです。

居場所カフェは、教員ではない、利害関係のない、信頼できる第三者が時間をかけて子ども達と信頼貯金を作っていくことで、子ども達にとって学校の枠を超えた第3の居場所となり

得ます。心の辛さについて、普通の生徒以上ライトルーム未満の生徒。家庭の問題の重さについて、普通の生徒以上※SC・SSW相談未満の生徒。一見問題のない生徒としてひとり苦しみを抱えながら学校生活を送っている子ども達が、心の奥にある本音を吐露する場所。安心して鎧を脱げる場所。それは校内に、しかし学校の枠の外側にあります。※SC・SSW; スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー



チョークアートの看板。本校教諭による力作です。

あげたかった。なぜならそれが居場所カフェだから。

コロナ感染対策と混雑防止のため、これを諦めました。時計回りの一方通行の導線を作り、大学生との交流スペース→食のスペースと



温かいホットクとともに作り手の気持ちが届きます。

いう流れを保持することで密と混雑を防ぎました。チラシには「居場所カフェ」ではなくあえて「居場所カフェ体験」と書きました。コロナ禍の中、居場所カフェのほのかな香りだけでも届けられたらと願っています。

3 企画を振り返って

1) 大学生の企画の連動性

①千葉経済大学「縁日」: 導入として最適なアイスブレイキング。子ども達が出だしから一気に和みました。

②神田外語大学「世界地図カードパズル」: 世界地図と国旗と世界遺産で世界旅行気分。気持ちと視野が広がります。

③淑徳大学「コミュニケーションスペース」: ①「縁日」と②「世界地図カードパズル」を通り抜けたからこそ到達した、気を許せる居場所感、だからこそこれだけ多くの生徒が、真剣な「相談」に向かったのだと思います。

2) フードロス有効活用した生徒支援の定着

ある生徒がレトルトの鯖の味噌煮について、「自分は食べないけれど、親が食べると思うので持っていきます」と話したことを、稲毛こひつじ園のスタッフが教えてくれました。フードロス有効活用として、白菜やお菓子類等を稲毛こひつじ園さんから提供していただいています。この言葉にフードロス有効活用の意識が生徒に浸透していることが分かります。今後もフードロスを活用した生徒支援を、生浜ライトカフェで継続していけたらと思います。

3) 外国につながる子ども達への居場所の提供

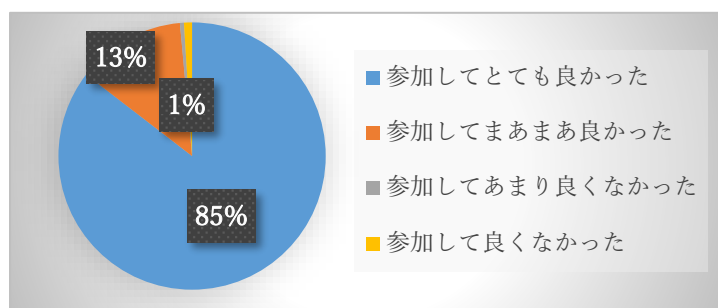
神田外語大学の企画には、外国につながる生徒達も大勢訪れ、一緒に訪れた日本人の友達に、自分の国の国旗や文化を嬉しそうに語っている風景を見かけ



母国のことを語るとき、生徒は自ずと顔を上げます。

ました。この体験によって、外国につながる生徒は、自分のありのままの姿、特に自分の一番生き生き出来る姿を日本の友達に見せることになります。このことが、日本人の生徒との関係を深めること、また生徒の自己肯定感を高めるこ

4 アンケート結果 (回収 205 名/229 名)



主催:生浜ライトカフェ実行委員会

協力:NPO 法人ハイティーンズサポートちば、社会福祉法人

初穂会(稲毛こひつじ園、稲毛ペコリーノ)、TSUGAno わこども食堂、ちば産学官連携プラットフォーム、フードバンクちば

○参加人数: 第1部には180名、第2部には49名、計229名。

○学生ボランティアの参加人数: 神田外語大学6名、淑徳大学12名、千葉経済大学11名の計29名。教職員や社会人のボランティアスタッフの参加人数: 神田外語大学1名、淑徳大学5名、千葉経済大学2名、帝京平成大学1名、千葉大学1名。TSUGAno わこども食堂1名、社会福祉法人初穂会(稲毛こひつじ園、ほっとスペース稲毛ペコリーノ)2名、千葉市役所2名、千葉市中央区社会福祉協議会1名、千葉市若葉区社会福祉協議会1名。

とに結びついていくのだと考えます。

4) ライトカフェですくい上げた情報のフィードバック

1部に参加したのだけれど、さらに大学生と話すために2時間近く待って2部にも参加した午後部2年生の生徒が3人いました。



相談者多数。斜めの位置にいる大学生の真骨頂。

そしてこの生徒達はライトルームにも来なければ、SC・SSWにも相談に来ない、冒頭に述べた所謂「抱えている問題が、普通の生徒以上ライトルーム未満の生徒達」「誰にも言わずに、問題のない生徒としてひとり苦しみを抱えながら学校生活を送っている真面目な子ども達」です。この生徒達こそ、通常の高校での教育活動では拾いきれない位置にいる子ども達です。当日全て終了した後に行われた振り返り会で、この生徒の情報をすくい上げ、後日担任にフィードバックしました。こういった子ども達を、できるだけたく

《生徒のこえ(抜粋)》

- ・他の学校にはなさそうなイベント! ぜひ続けて欲しい。
- ・とてもフレンドリーで緊張していた私たちを優しく包み込んでくれてとても楽しかったです。
- ・楽しく話ができてよかった。ありがとうございました。
- ・すごい楽しかったです。またぜひやってほしい。最高の企画ありがとうございました。
- ・大学生、社会人の方々から役に立つことを聞けてとてもうれしかったです。おいしいものもあって満足です。
- ・すばらしい! これは毎日やるべきだと思います。
- ・食べ物が無料でもらえてよかったです。
- ・元々ライトカフェがある事を知らず、友達に誘われて参加したが、思ったより様々なものがあって楽しめた。



2021年5月16日(日)
NPO法人ハイティーンズサポートちば
第2回定期総会 報告

□記念講演

コロナ禍、貧困の記録

～2020年 この国の底が抜けた～ 講師 雨宮 処凜さん

5月16日、総会に続いてNPO設立1周年記念講演会として雨宮処凜さんの講演会を開催しました。処凜さんは一人でしゃべるのは苦手だということで、私(宮内)もステージに上がり、インタビュー形式で行いました。

まずは自己紹介から。いじめ、リストカットなど若者の生きづらさを象徴するような前半生が語られました。特に右翼団体に関係したときの話は興味深いものがありました。ある左翼系の団体の集会に参加したときは、話が難しくてよく分からなかった。そのあと右翼団体の首領にあったときはとても分かりやすかった。「お前は悪くない。悪いのはアメリカと戦後民主主義だ」と言われて感動したそうです。そこで彼らにとって諸悪の根源である日本国憲法を読もうということになった。しかし、読むごとに処凜さんはその条文が素晴らしいものだと気づいた。日本国憲法の素晴らしさを知ったのは右翼団体のおかげでした。

□第2回定期総会の報告

2021年5月16日(日)午後1時40分より、千葉市文化センター5階セミナー室を会場に、NPO法人ハイティーンズサポートちばの第2回総会が開かれました。議案は、事業・決算報告、事業計画・予算案、定款の一部変更を含め8件。活発な質疑・意見交換があり、賛成多数で承認されました。今回、会員の皆さまから貴重なご意見をいただきました。ありがとうございます。会員が参加しやすい活動スタイル、広報の工夫等検討してまいります。

○定款の変更 第2条 (変更前) この法人は、主たる事務所を千葉県船橋市に置く。

(変更後) この法人は、主たる事務所を千葉県千葉市に置く。

○質問・意見から (おもなものをあげさせていただきます。)

- ・高校生への食支援がいくつかの高校に限られている。
県内他の地域の高校も検討してほしい。
- ・役員に女性がいないのはどうか。
- ・いつどこでどんな活動があるのか分かりにくい。



困ったことがあったら
すぐご相談ください!

当会のLINE公式アカウント名は
「hsちば」です。



コロナ禍、生活困難者が激増している。特に女性がホームレスになりやすい状況にある。女性の5割は非正規雇用労働者、平均年収200万で貧困率が高い上に、飲食店が閉まることで職を失い、シェアハウスを追い出される。ネットカフェも休業要請があり、都内で4000人が泊まる所を失った。10年以上ネットカフェ住まいで熟睡できない状態なのに、野宿生活に追いやられる。生活保護を申請しても、認可されるまでのお金が前借できない自治体も多い。本当に、コロナ禍、この国の底は割れている。直ぐに支援が必要な人がどんどん増えているのに、国はオリンピックに巨額のお金を使う。このままでは沈没してしまう。

参加者は、「コロナ」の波もあって少なめでしたが、処凜さんと活発に意見交換ができました。(宮内 渉)

○2021～2022年度役員

理事長	吉永 馨 (元千葉県立高校教員)
副理事長	三尾 敬次 (千葉県立高校教員)
副理事長	宮内 渉 (千葉県立高校教員)
理事	石橋 正治 (千葉県立高校教員)
理事	長永 孝弘 (千葉県立高校教員)
監事	新谷 卓 (元千葉県立高校教員)

会員募集→
詳細はHPにて



公式LINE→
友だち追加



編集後記

広報第5号は校内「居場所カフェ」の特集号となってしまいました。次号であらためて、食支援(秋の「お米配布会」)や居場所カフェ(10月本格スタート)の報告をさせていただきます。(三尾敬次)